



「持続可能な開発」主流化のジレンマ —ESDの変容と課題—

日時：
2021年9月1日(水)
15:00 - 16:30
ZOOM開催

対象：
大学院生、学部生、
その他（テーマに興味関心
のある方）

講演者：
望月 要子氏

（マハトマ・ガンジー平和と持
続可能な開発のための教育研究所
政策プログラム長）

プロフィール

国連教育科学文化機関（ユネスコ）教育局のアジア初の直轄研究所であるマハトマ・ガンジー平和と持続可能な開発のための教育研究所、政策プログラム長。慶應義塾大学卒業。コロンビア大学博士号（比較国際教育学）取得後、コロンビア大学教育学大学院非常勤講師、国連大学高等研究所の博士研究員と持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）スペシャリストを経て、ユネスコ本部ESD課のプログラム・スペシャリスト（気候変動とESD）を務め、ポスト2015開発アジェンダおよびポスト国連ESDの十年(2005-2014)の枠組みの作成に携わる。2015年より現職。



事前申し込みは、下記QRコードよりお願いいたします（締め切り：8月30日）。

